

公告 昭 35.7.26 出願 昭 32.10.3 実願 昭 32-43336

考 案 者 柳 沢 明 東京都足立区梅島町1 栗林写真工業株式会社内
出 願 人 栗 林 敏 夫 東京都足立区梅島町1

(全2頁)

写真機に於けるロールフィルム用スプール

図 面 の 略 解

第1図はスプールの断面図、第2図はフランジの斜視図、第3図は弾性摩擦片の正面、側面及び上面図、第4図は弾性摩擦片を輪筒内に組込む状態の斜視図である。

実 用 新 案 の 説 明

本案は弾性摩擦片を備えたフィルム捲取用スプールに関するものである。

第1図に図示せる如く、捲取軸1の下端には既に公知の方法で歯車3が取り付けられ、図示せざる数個の歯車を介してスプロケット歯車に係合している。

捲取軸1にはスプール2が嵌入され、これは輪筒2aとフランジ2b、2cとから成つている。フランジ2b、2cにはスプールを写真機内に組込んだ際、写真機本体内壁の所定の位置にスプールを装着せんが為、第2図に示したる如く、中央部に2d、2eの如き凸部を設けてある。

弾性摩擦片4の一例を第3図に示すと、スプールの輪筒2aの内壁に沿つた円弧状の腕4a、4bと軸方向に彎曲せる4c部とを備えたものである。

此の弾性摩擦片4が2個、スプール内に組込まれ、捲取軸1がスプール内に嵌入せられた際、弾性摩擦片4の軸方向に彎曲せる4c部分が捲取軸1の外壁を押し、その摩擦抵抗により捲取軸1と共に確実にスプールを回転させる一方、或る一定

の力以上の外力が加えられた際には捲取軸1とは別個にスプール2が摺動し得る様に為したるものである。又、第3図に図示せる弾性摩擦片4の腕4a、4bは、これがスプール内に組込まれた際、スプール軸にその軸を平行に保ち、且つその位置を濫に移動せぬ為に備えられたものである。

従来のスプールは写真機本体に組込む際にその空間の制限を受け安易に、且つ確実な機能を為し得る様に組立てる事が困難であつた。

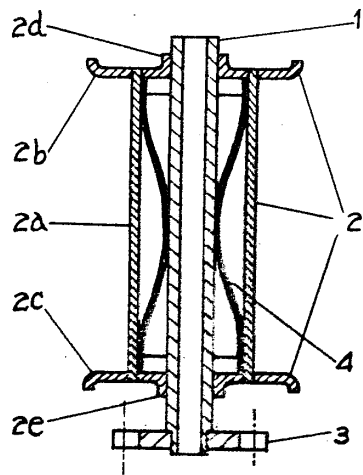
この欠点を補う為、本案は形状が極めて簡単で且つ、成形加工安易なる弾性摩擦片4を内部に挿入せるスプールを用いる。

このスプールの組立に際しては、写真機本体とは全然別個にスプール内に弾性摩擦片を挿入し組立てて置くだけで、写真機本体に装填した際に確実に目的に適つた作用を為し得るので、その組立は簡単且つ速やかに行い得る(又写真機本体に装填する際にも弾性摩擦片の挿入された、スプールに捲取軸を嵌入するのみにて終るので、万一スプールの交換の必要が起つた場合にも取外しに便利である。

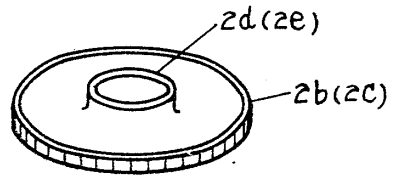
登 録 請 求 の 範 囲

図示せる如く、円弧状の腕4a、4bと軸方向に彎曲せる部分4cを備えた弾性摩擦片を輪筒内に挿入して組立てたるフィルム捲取用スプール。

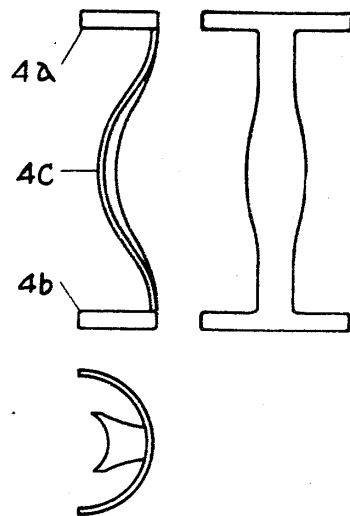
第1図



第2図



第3図



第4図

